

沖田総司の写真

いつの頃か忘れてしまったが、20年前か30年前か、もっと前かも知れないが、定かではない。電車の網棚に置かれていた新聞をひよいと見ると、たまたま一葉の写真が載っていた。・・・・・・・・この写真の説明で、ボンヤリと覚えているのが、「・・・筆者の手元に一枚の若者の写真がある。名前が書かれていないので誰のものかわからない。筆者は、沖田総司ではないか、と考えているのだが。函館で散った土方歳三が最期まで持っていた荷物の中に遺されていたもので、・・・・・・・・」という意味のことが書いてあった。その新聞を持ち帰ってればよかったのだが、そのうち単行本になるだろう、と思い、そのまま本を買うことも忘れてしまった。

10年ほど前のことだろうと思うのだが、TVの番組で、関口某が司会だったが、沖田総司の写真をスタッフが探し尽くしましたが、「みつきりませんでした。そこで、『沖田総司は（12歳年長の）お姉さんにそっくりだった』ということで、お姉さんの写真をお借りしてきました。ハイ、ご覧下さい」とでてきた写真をみた途端に噴き出してしまった。あの新聞に載っていた若者の写真を女性にしかただけのもので、間違いなく、沖田総司の写真である、と思った。

近藤勇の写真は鬚姿であるが、土方のはオールバックで、函館で撮影したものだろう。沖田総司や斎藤一の写真が遺っていない。沖田はともかく、斎藤一は大正時代まで生きた。（一葉だけ、斎藤一の写真というのがあるが。）同じく大正時代まで生きた永倉新八の写真は、高齢になってから撮影したものだ。小樽に住み、孫の守りをする毎日だったという。・・・・・・・・ちなみに、新撰組では、この3人がもっとも強いといわれていた。永倉新八は、晩年小樽で、素手で睨みつけただけで、チンピラ数人がコソコソ逃げてしまったという逸話が遺されている。

ところで、インターネットで検索すると、原康史氏の項で、沖田総司の写真というのがあって、見た瞬間に、この写真ではない！ と断言できる。上に述べた筆者というのは原康史氏であるが、インターネットに載っている写真は、明らかに沖田総司ではない。ボクが見た写真ではない。姉さんの「みつ」の写真も高齢になってからのしかない、という。・・・・いったい、どうなってんねん？　今はともかく、若い頃に見ているから、記憶には自信がある。ボクが見た写真はどこに行ったのか？

同じく、インターネットでは、原康史氏の「撃録新撰組」の表紙を飾っている写真を沖田総司ではないか、と言っておられるのであるが、家紋が異なっていることなどから、沖田総司ではない、というのが定説である。大鳥圭介ではないか、とも言うが、彼らは仲良しでもなんでもない。

姉さんの「みつ」の写真の出所についてはわからないが、30代くらいの女性であった。かなり鮮明なものである。関口某の番組スタッフに尋ねる必要があるのではないか。